

第18回 教育資料研究会

～ 授業改善としての学習者の学習反応曲線の研究 (2) ～

主催 日本教育情報学会・教育資料研究会

現在、政府（文部科学省、総務省）ではフューチャースクール構想において、全国各地で実験的に児童生徒一人1台のコンピュータ環境を整備しています。さらに、その教育的効果を実証して、2020年迄に、児童生徒一人1台のコンピュータを導入する計画をしています。

ここでは、このような児童生徒1人1台のコンピュータの学習環境における新しい授業研究方法として、授業実践の記録を児童生徒1人1台のコンピュータを使ったアナライザーを活用し学習反応曲線を作成し、授業改善における学習反応分析の活用について研究します。

記

日 時： 平成28年 4月19日（火） 18:00～20:00

主 催： 日本教育情報学会

場 所： 岐阜女子大学 11号館2F 久世研究室
〒501-2592 岐阜市太郎丸80番地
TEL (058) 229-2211 (代) 028-214-9341 (研究室直通)

内 容：

1. レスポンスアナライザーの機能設計の連携
増村洋彰 (株式会社 リオス)
2. レスポンスアナライザーと発問のカテゴリーとの関係性について
堀 信哉 (大垣市立星和中学校)
3. 協働学習における学習反応分析の活用について
久世 均 (岐阜女子大学)
4. レスポンスアナライザーと授業改善について
久世 均 (岐阜女子大学)
5. 学力の分布とレスポンスアナライザーを活用した発問応答の時系列分析の関係性について
齋藤陽子 (岐阜女子大学)

参加費： 無 料

申込先：参加希望の方は、岐阜女子大学 文化創造学部 初等教育学専攻 齋藤陽子まで
E-mail(youko@gijodai.ac.jp)で直接お申し込みしてください。